ニッケイ新聞
JORNAL NIKKEY SHIMBUN
DIRETOR PRESIDENTE
RAUL M. TAKAKI
JORNALISTA RESPONSÁVEL
TAKAO MIYAGUI
Rua da Glória, 332 - Liberdade
CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil
Tel (11) 3340-6060 | www.nikkeyshimbun.jp

上院コロナ禍 CPI

報告官にレナン元議長

ボルソナロの恐れた展開に

事前の撤回交渉も実らず

発足日メド立ち対面形式で

上院でのコロナ禍に対する議会調査委員会（CPI）の報告官に、元上院議長のレナン・カリェイロス上議（民主運動・MDB）が選出された。かねてから反ボルソナロ大統領派で知られるレナン氏が報告官をつとめることで、大統領がより苦しい立場に追い込まれることになりそうだと、17日付伯字紙が報じている。

レナン上議（Fabio Rodrigues Pozzebom）

16日に各政党が指名したCPIの委員たちが決めた人事は、報告官がレナン氏で、委員長がオマール・アジス上議（社会民主党・PSD）、副委員長がランドルフ・ロドリゲス上議（レデ）となった。アジズ氏はこのCPIに関しては連邦政府、野党どちらにもくみしていないが、ランドルフ氏はこのCPIの発案者で、上院の野党リーダーでもある。

このCPIの開設は、連邦政府に不利に進むと、エドウアルド・パズエロ前保健相の逮捕だけでなく、政権担当者としての責任を追及される形でボルソナロ大統領の罷免問題に発展する可能性があるため、連邦政府としては何としても食い止めたいものだった。

だが、CPIの開設は避けようがなく、政府が当初望んだ「州や市にもコロナ禍の責任を負わせるもの」にもならなかった。さらに、ボルソナロ大統領に批判的な上議が与党議員より多く参加することになってしまった。

とりわけ避けたかったのは、当初から噂のあった、レナン氏が報告官をつとめるという筋書きだった。それは、レナン氏はルーラ、ジウマ両大統領の労働者党（PT）政権時代に上院議長を務めており、かねてからPTと敵対するボルソナロ氏に厳しい内容の報告を行うことが予想されていたからだ。

とりわけ、15日には最高裁審理で、ルーラ氏が選挙出馬を禁じられる原因となっていたラヴァ・ジャット作戦での二つの裁判の判決が正式に無効化され、22年の大統領選でルーラ氏とボルソナロ氏が対決する可能性が高まったばかりだ。報道によっては、早くも、このCPIは「大統領選の代理戦争」との見方を行っているものもある。

連邦政府はレナン氏所属のMDBにかけあい、同氏の報告官役を取り下げ、その座を上院の連邦政府副リーダーのマルコス・ロジェリオ上議（民主党・DEM）に譲るようもちかけた。だが、MDB側が、レナン氏を外した場合、連邦政府との談合で決まったアジズ氏の委員長を反故にし、連邦政府にとってはより不利となる委員長を選ぶことを示唆。これにより、連邦政府側が手を引かざるを得なくなった。

この他にも連邦政府は、PSDにかけあい、同党から委員に選ばれたオットー・アレンカール氏を、もう少し連邦政府寄りの上議に代えられないかを迫っていた。アレンカール氏は医師という立場から、ボルソナロ政権のコロナ対策の甘さを常に批判していた人物だからだ。だが、こちらも叶わなかった。

ロドリゴ・パシェコ上院議長は、CPIの発足をチラデンテスの休暇明けの22日、もしくは週明けの27日に行う意向であることを16日に発表した。審議は対面形式で行うものとした。

他方、19日付伯字紙によると、このCPIではパズエロ氏以外の軍人閣僚らも調査対象とする意向で、連邦会計検査院（TCU）の捜査対象になっている、パズエロ氏とヴァルテル・ブラガ・ネット国防相の二人が最初に呼ばれる見込みだという。このことは、CPIの調査がマナウス市での医療崩壊以外のことにも及ぶことを明示しており、連邦政府にとってはますます、頭の痛い展開となりそうだ。

コロナ禍で平均寿命が低下

複数の自治体で3年以上短命に

新型コロナによる死者増加が止まらぬ中、伯国では初の平均寿命低下が起きており、連邦自治体によっては3年以上も短命になると19日付エスタード紙が報じた。

ハーバード大学公衆衛生科グローバルヘルス&ポピュレーション部門の伯人研究者のマルシア・カストロ氏らによると、コロナ禍により、伯国全体で1・94年、複数の連邦自治体では3年以上、平均寿命が短くなるという。

18日現在のコロナ禍による死者は37万3335人で、直近7日間の死者は2万198人、1日あたりの平均の死者は2885人だ。感染学上の第15週（11～17日）の死者は2万344人で、過去最多だった第14週の2万1141人より3・8％減ったが、それでも、パンデミック下では2番目に多い。

平均寿命が最も短くなると見られているのは連邦直轄区で、3・68年短命となる見込みだ。以下、アマパーの3・62年やロライマの3・28年が続いている。

他方、18日現在の死者が8万8350人で全国最多の聖州は、平均寿命が2・17年縮むと見られている。全国平均では1・94年短くなる見込みだが、これは、コロナ禍によって35万人以上の死者が出ている事が最大の原因だ。

地理統計院（IBGE）によると、伯国での平均寿命低下は1940年の統計開始以来初めてだ。統計初年の平均寿命は45・5歳だったが、医学や伯国全体の発展、新生児や乳幼児の死亡率低下などで、1980年は62・5歳、2000年は69・8歳になった。

近年の延びは減速したものの、伯国の平均寿命は現在の76・6歳まで常に延び続けてきた。このような流れを変えたのがコロナ禍だ。

カストロ氏らの研究がいつの時点の数字を基にしているかは明記されていないが、伯国では6州で1～3月の死者数が昨年の死者総数を突破。18日現在の数字では、さらに4州で1月以降の死者数が昨年の死者総数を超えた。4月1～18日の死者は5万1820人で、3月の6万6573人を超える事や今月中に今年の累計が昨年の総計を超える事は確実だ。

短命化の度合いは北東部でも大きく、セルジッペで2・21年、セアラーで2・09年、ペルナンブコで2・01年縮む見込みだ。

南東部ではエスピリトサントの3・01年低下が最も深刻で、リオでも2・62年縮むと見られている。南部3州はいずれも2年未満の低下となる見込みだ。

平均寿命低下には死者の年齢なども関係しており、死亡率や死者数だけでは判断できない。その事は、100万人あたりの死者が2391人で死亡率は4位の連邦直轄区の平均寿命が、死者数1位の聖州や死亡率1位のアマゾナスよりコロナ禍の影響を強く受けている事からも明らかだ。

18日付フォーリャ紙は、聖市では昨年3月以降、コロナによって1万9897人（597人に1人）が死亡しており、殺人事件や事故などの暴力沙汰（8053人に1人の14474人死亡）の13倍も危険な上、死者増加のペースが加速していると警告している。

聖市の臨時病院でコロナ感染症患者の治療にあたる医療従事者達（Rovena Rosa/Agencia Brasil）

聖市では暴力より13倍危険

コロナワクチン

コロナバックの遅延材料到着

米国製やロシア製でも進展

19日朝、中国から、新型コロナの予防接種ワクチン「コロナバック」を500万回分製造できる原材料（有効成分）が到着し、聖市ブタンタン研究所に届けられた。また、米国ファイザー製薬、ロシアのスプートニクVなど、他のコロナワクチンにも気になる動きが出ている。19日付伯字紙、サイトが報じている。

北京からトルコ航空の飛行機で空輸されたコロナバックの原材料、3千リットル分は、19日午前6時13分にグアルーリョス空港に到着した。その後、ブタンタン研究所に届けられている。

今回到着した500万回相当分の原材料は、本来なら3月末までに届けられることになっていたが、19日遅れたことになる。そのため、今月末までに納入する予定だったコロナバックの製造が遅れ、5月10日までの納品となった。なお、今回も、当初予定されていた6千リットルの半分しか送られていない。もう半分の3千リットルは4月末までに送られて来る予定だ。

コロナバックは、現在までに伯国で使用されているコロナワクチンの大半を占めている。ブタンタン研究所は保健省に対し、5月10日までに累積で4600万回分のコロナバックを送ることとなる。

一方、国家衛生監督庁（ANVISA）が緊急使用の許可を出しながらも、政府が再び、契約書の項目に苦言を呈したため、一向に購入契約が確立せず、接種開始のめどさえ立っていなかったファイザー・ワクチンも、最初の積み荷となる100万回分が、4月29日に聖州カンピーナスのヴィラコッポス空港に届けられることになった。

全国市保健局審議会によると、このワクチンは零下70度での保存が必要とされるため、その施設を有する州都でのみしか使用されないという。

また、ANVISAがスプートニクVの工場の視察を行うために派遣した調査員たちが、17日にモスクワに到着した。

到着したコロナバックの原料（Twitter）

スプートニクVはすでにアルゼンチンなどで使用されているワクチンで、90％を超える高い効用を示している。伯国内では北東部の知事たちが使用に興味を示しており、連邦政府に圧力をかけているが、ANVISAが緊急使用許可を出さないため、州知事たちが苦言を呈し、ANVISAの理事たちとの会合を申し入れたりしていた。

また、ANVISAは19日、コロナバック以外の中国製ワクチン（クローバー製薬製のダイナバックス）に治験開始許可を出した。伯国での治験は、リオ、南大河、北大河の3州で、1万2100人を対象に行われる予定だという。

東西南北

16日午後、政治団体「ブラジル自由運動（MBL）」を代表する政治家のキム・カタギリ下議や、聖州議のアルトゥール・ド・ヴァル、リカルド・メロンの両氏が、大聖市圏グアルーリョスの総合病院を訪れ、17日朝、聖州保健局が「侵入行為を行い、入院患者たちを危険に晒した」という声明を出した。州保健局は最初、「関係者以外は入場が制限されている区域に力づくで入ろうとした」としていたが、その後、弁を翻し、侵入行為ではなかったと弁明した。3人によると、この病院はメロン氏が議員割当金を使ってたてたプロジェクトの対象で、プロジェクトが機能しているかを確かめるために予約を行わず突然訪れたが、集中治療室などには行っていないという。「嘘を撒き散らされた」とカタギリ氏は憤慨している模様だが、コロナ患者の病室もあるのだから、事前に予約し、怪しまれないようにするべきだったのでは。

◎

新型コロナのパンデミック第2波の影響で、今年に入ってから聖州での結婚の件数が激減しているという。同州の登記所によると、3月に行われた登記所での結婚式は3952件で、昨年の12月の6083件と比べ、35％減っている。2020年はパンデミックのため、結婚件数が前年比で27％激減したが、パンデミックが収まりつつあった年の後半は登録数が上昇し、12月にはピークを迎えていたという。感染再燃で再び減ってしまった婚姻数。感染が沈静化したら、再び増えはじめると期待したい。

◎

サッカーの聖州選手権は18日を終わった時点で、コリンチャンスがA組、サンパウロがB組、サントスがD組で、いずれもトップと順調だ。パルメイラスだけは、消化日程の数が少ないことや、他杯の試合があったこともあり、C組3位と出遅れている。ここ数試合、勝ちが遠のいているが、昨季は南米一にも輝き、実力は証明済み。そろそろエンジンをかけてくるか。

コーヴァス聖市市長

癌が肝臓と骨に転移

化学、免疫の両治療に

がん闘病中のブルーノ・コーヴァス聖市市長が経過観察のために受けた検査により、肝臓と骨にがんが転移していたことが判明した。17日付伯字紙が報じている。

コーヴァス市長は15日に聖市シリオ・リバネス病院に入院し、検査を受けた。その結果、新たな転移が見つかり、16日に発表された。

コーヴァス市長のがんは、19年10月に胃と食道をつなぐ部分と、肝臓、リンパ節でみつかったものからはじまり、20年にはリンパ節の病巣縮小が確認されたが、今年2月には肝臓に新たな病巣ができているのが見つかった。各々のケースは放射線療法や化学療法、免疫療法で治療してきたが、今回は肝臓や骨に病巣が広がっていることが確認された。コーヴァス市長本人はまだ、「兆候は感じていなかった」という。

コーヴァスは17日から、化学療法と免疫療法の二つを並行して受けることになる。同氏は19年のがん発覚以来、離職せず、公務を継続。入院が必要な時も、病院で公務を行いながら、治療を受けている。放射能療法や化学療法後も病巣がのこっていたため、免疫治療に切り替えていたが、今年見つかったがんでは放射線療法を併用。今回は化学療法を併用することになる。

「うなだれて、諦めるかだって？　とんでもない。これまで通り戦い続けるだけだ」とコーヴァス市長は気丈に語っている。化学療法と免疫療法には48時間を要すが、週末を利用して行った。2週間ごとに同じ治療を繰り返した上、8週ごとに経過観察のための検査を受けることになっている。

ペトロブラス

ルナ氏が新総裁に正式就任

注目される政府の介入の有無

ボルソナロ大統領が2月に行った人事介入でペトロブラス総裁に指名された軍人のジョアキン・シルヴァ・エ・ルナ氏が、19日に同公社総裁に就任したと同日付伯字サイトが報じた。

ルナ氏は2月に総裁に指名されたが、石油関連の企業での経験がなく、ペトロブラスの総裁として承認されるかなどが案じられていた。

また、経営審議会がロベルト・カステロ・ブランコ総裁の任期終了までは現状の体制を維持する事を要請した事もあり、総裁人事を審議するための総会開催などが遅れ、指名から2カ月近い12日にやっと経営審議会の正式メンバーとなり、19日に就任となった。

ルナ氏の指名は、国際的な原油価格の動向に応じてガソリンやディーゼル油の価格を調整する政策を不満とした大統領による人事介入の一端として行われ、市場からは同社の独立性を損なうなどの懸念も出ていた。

2月の総裁指名時は、大統領による介入を嫌う動きなどで、ペトロブラスを含む公社株が急落する事態なども起きたが、最終的には、政府の意向通り、ルナ氏の総裁就任や経営審議会のメンバー変更が承認された。

総裁交代直前の16日には再度燃料費が引き上げられたが、ボルソナロ大統領は「価格政策には介入しない」と発言。他方、経営審議会の新メンバーは政府の意向が強く反映されたものである事や、下院の支持を得た政府が価格政策にも影響を及ぼす可能性が囁かれており、市場関係者は、カステロ・ブランコ氏が導入した価格政策や持ち株売却などによる財政立て直しという方策が継続されるかに注目している。

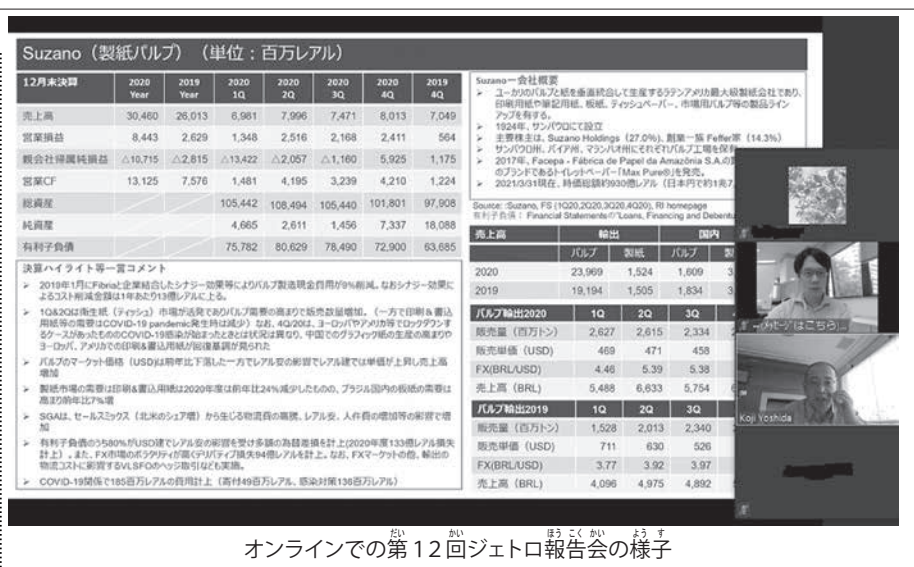
外国為替市況
中銀サイトより
4月19日午後4時現在
米ドル相場
売　5.548 R$
買　5.546 R$
円相場
売　0.0516 R$
買　0.0516 R$

ジェトロ／会議所

伯国代表９社の財務諸表分析

コロナ禍の影響を数字から

ブラジル日本商工会議所とジェトロサンパウロ共催のウェビナー「第12回報告会（意見交換会）」が、14日午前9時半からオンラインで開催された。新型コロナウイルスの感染拡大以降、オンライン経由の情報収集が必要とされ、多くの日系企業が事業活動・執務環境・労務管理などあらゆる制度の見直しに取り組んでいる。それらの現状を踏まえ、在サンパウロ日本国総領事館も協力の下、各社の企業活動のヒントになるように同定期報告会は企画された。



オンラインでの第12回ジェトロ報告会の様子

今回は、ブラジル以外にも日本や米国から約70人がオンラインで一堂に会した。ブラジル日本商工会議所コンサルタント部会長の吉田幸司氏らが、『2020年度決算発表からみる新型コロナウイルスの影響 その2』をテーマに、ブラジルを代表する9社の企業の財務諸表を元にプレゼンテーションを行った。

2020年の財務諸表を中心に分析されたのは、JBS（食品）、Suzano（パルプ製紙）、CVC（旅行代理店）、Vasta Platform（教育）、Embraer（航空機製造）、Mahle（自動車部品）、Magazine Luiza（小売）、SLC Agrícola（農業）、Braskem（化学）。業種によって、CVCのようにコロナ禍の打撃を受けて本業が大きなダメージを受けた企業もあれば、Suzanoのように、衛生紙市場が好調であることとレアル安の影響で、全体としては売り上げが伸びた企業もあることなどが説明された。

プレゼンの後、平田藤義会議所事務局長は、「今回も素晴らしいお話と、よく分析された財務諸表を報告していただきました。教育の分野やコロナの影響が大きかったCVCやドイツ移民が創業した会社をドイツの企業が買収して立て直したMahleなど、例えば、そういう企業と日本の進出企業や日本本国の企業と対比し、特にコロナ禍での状況も比較していただければ、さらに興味深くなるだろうと思いました」と感想を述べた。

平田事務局長は、10年ほど前までサンパウロで発行されていた雑誌『実業のブラジル社』の話も取り上げた。同誌は、日系ビジネスに主眼を置き、『実業のブラジル社』に代わるような情報誌があれば、進出企業の皆様は、もっとビジネスの展開が容易になるのではないかと思いました」などと述べた。

会議所の会員企業20社ほどの財務諸表が連載され、手に取る様に会員企業の比較ができたことを振り返った。

ブラジル企業の動向を長年に渡って見つめてきた平田事務局長らしく、

マナウス総領事館

草の根でベネズエラ避難民等支援

困窮者の人命保護・生活向上へ

在マナウス日本国総領事館（関口ひとみ総領事）は3月23日に、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「福者ジョアン・バチスタ・スカラブリニ移民の家改修・拡張計画」へ供与式をマナウス大司教区カリタス（レオナルド・スタイナ会長）との間で執り行った。

この計画実施により、ベネズエラ避難民ひいては各国困窮者の人命の保護及び生活の質の向上に寄与することを目的として、日本政府が行う政府開発援助（ODA）の一部として12万1734米ドルが供与される。同案件は、同州同市内にある同移民の家の改修・拡張や家具・調理機材。太陽光システム等の機材整備が行われる。

供与式には、中村玲子総領事代理、レオナルド・スタイナ／マナウス大司教区カリタス会長、カタリーナ・サンパイオUNHCRマナウス事務所長代理、マルコ・リベイロ福者ジョアン・バチスタ・スカラブリニ移民の家コーディネーター他、関係者らが出席した。

スタイナ会長は挨拶で「当地に到着する避難民や移民が最初に滞在する本施設がこの度改修され、より快適な環境で新生活を開始できるよう整備されたことを嬉しく思います」歓びを表した。

中村領事代理は「今回改修・増築された移民の家が、今後も長期に亘り保護を必要としている多くの人を受け入れ、尊厳のある安定した生活を送れるよう願っています」と挨拶した。

除幕式の様子

WILL関連

業務停止命令後も勧誘継続

預託商法VISION

【共同】USBメモリーの販売預託商法を展開するVISION（V社、東京）が、自転車操業状態を隠して新規会員を勧誘し、消費者庁から特定商取引法違反で業務停止命令を受けた問題で、その後も各地でセミナーを開催して勧誘を続けていることが17日、V社関係者らへの取材で分かった。行政処分後はV社を名乗らず、ホテルなどでセミナーを開催する際は「エスエスティー」「SST」「SHK」という名称を使う場合が多い。

消費者庁によると、V社は今年2月までの1年5カ月間で674億円を集金しており、破綻すれば巨額の消費者被害になる恐れがある。同庁幹部は「各地で営業を続けているとの情報はある。事実であれば極めて悪質で、厳正に対処する」としている。

V社は、電話やカラオケなどのアプリが入っているというUSB商品「ライセンスパック」を約60万円で販売する契約を会員と締結。「国内外でレンタルし、3年間で72万円の賃貸料を支払う」とうたい、差額の12万円を得するとして会員を集めた。

各地のホテルなどで開いたセミナーでは「世界中の方がアプリを使い、売り上げが上がり、皆さんに支払ったレンタルフィーの原資になった」などと宣伝していた。

消費者庁は、会員の契約料がV社の総売り上げの大半を占め、商品を運用している実態がないと認定。3月20～21日、V社と、勧誘活動をしたレセプション（三重）に業務停止命令（2年）を出し、実質的トップで「会長」と呼ばれる大倉満氏ら2人も業務禁止2年とした。

しかしV社関係者によると、直後の3月26日に大阪市のホテルで数百人規模のセミナーを開催。4月5～7日にも北海道函館市のホテルで約50人規模のセミナーを実施した。4月下旬には沖縄県でも実施するとの情報もある。

（※編集部注＝VISION社は2018年当時、ブラジルでは「WILL」という本社名、ブラジル支店名「J―Vision」を名乗って、日本のテレビが見られるWILLフォンのレンタル業務をしていた）

エネルギー投資セミナー

駐日ブラジル大使館など

駐日ブラジル大使館（エドアルド・サボイア駐日ブラジル大使）と一般財団法人海外投融資情報財団（中西孝平理事長）主催、日本ブラジル中央協会（大前孝雄会長、東京都所在）が後援して、「ブラジルのエネルギーセクターにおける投資機会セミナー」を26日10時～11時（日本時間）に、会議アプリズーム上で開催する。

本イベントは、サボイア駐日ブラジル大使が講演する。この講演では、ブラジルにおけるエネルギーの現状やその投資方法についてなどを中心にオンライン講演を行う。使用言語は英語、同時通訳は無し。

同講演は26日10時～11時（ブラジル時間25日22時～23時）に開催予定。参加費は無料。締切り22日まで。参加申し込みや質問は以下ホームページ（応募フォーム＝https://nipo-brasil.org/archives/event/lec20210426/）／メール＝info@nipo-brasil.org）まで。

□休刊告知□

21日が「チラデンテスの祝日」であることから、22日（木）付は休刊となる。20、21日付の次は23日（金）付となるので、ご注意を。

JICA

オンラインで最終活動報告

19年1次・2次隊ら14人

独立行政法人国際協力機構（JICA）サンパウロ事務所（江口雅之所長）は3月18日、19日の2日間、2019年度にブラジル国内に派遣された1次隊と2次隊のボランティア隊員14人の最終活動報告会をオンラインで実施した。

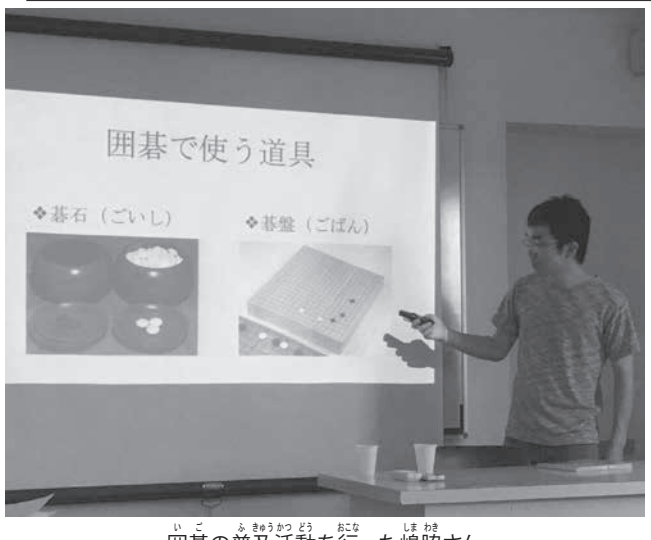
当日は午前7時半という早朝にもかかわらず、山田彰駐ブラジル日本国特命全権大使やブラジル各地の在外公館からも報告会に出席し、隊員達の報告を見届けた。

江口所長は挨拶で「待機を続け、再赴任を目指して日本国内で活動継続して下さった中で、3月末で隊員としての身分がなくなります。ですが、これからも国内外で活躍頂きたい」と励ました。

同報告会では日本国内待機期間中にもリモートで活動を継続した隊員からの報告もあった。

嶋脇雄一郎さん（青森県）は、19年7月22日からブラジルで日本の囲碁を普及活動のためブラジル日本棋院に派遣された。一時帰国中も日本で囲碁に関する広報活動や、ブラジルに向けて日本文化の紹介、日本の学生との交流支援、オンラインでの囲碁大会開催などに尽力してきた。

20年1月6日からパラナ州マリンガ地区日本語学校連合会へ派遣された伊藤恵利子さん（栃木県）は、同地区の日本語教師の日本語能力向上に向けた活動を実施。一時帰国中は現地教師向けに日本文化や時事ニュースの情報共有、現地のオンライン教師会等での指導等を実施した。



囲碁の普及活動を行った嶋脇さん

ブラジル東京海上は
安心と安全の提供を
通じて、豊かで
快適な社会生活と
経済の発展に
貢献します。
TOKIO MARINE SEGURADORA
NOSSA TRANSPARÊNCIA, SUA CONFIANÇA

BANCO SUMITOMO MITSUI BRASILEIRO S.A.
SMBC
みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス６％ www.team-6.jp

（145）

そんなことがあってから、私は気分的にも本当に落ち着いて穏やかな気持ちになり、私のイエス キリスト様に心から感謝の祈りを捧げることができるようになったわ。

その後、私が考えたことは、この隠れキリシタンの流れをもっと広い世界に広げていったらどうかということだったわ。小娘の発想としては、ちょっと常識外れの感がないでもないけど、まあ、世間知らずの、向こう見ずな、私らしい考えだったとはいえるかもしれないわね。

そんな時に、あのアゴスチーニョ神父からの話が出たわけね。

最初、ブラジルの話が出たときは正直いってちょっとまごついたところはあったわね。確かに、今村から何回にもわたってブラジルへの移民があったから、私たちにとっては奇想天外というほどの違和感はなかったけど、ただ、私なりに広い世界というのは、せいぜい台湾とか、満州といった、日本に直接結びついた場所というふうに考えていたから、その辺の差に少しまごついたということね。

でも、考えてみたら本当に広い世界ということだったら、ブラジル以外にはないということに気付いたわけ。

そうだ、ブラジルという長大級の広い世界があったんだ、と今さらのように思い出したわけね。もちろん、詳しいことは、私は一切知らなかったし、ブラジルという国がどんな国なのかという知識さえまったくなかったんだから、まあ、その考え方もいい加減なものではあったわね。

ただ、アゴスチーニョ神父も行かれるということであれば心強いし、間違いはないだろうということで決断したわけね。神父のおかげで師範学校へも行かせていただいたし、宗教のことだけでなく、人生のことも随分勉強して視野が広くなった思いだったし、これはまたとない機会だと考えたわけね。

アゴスチーニョ神父も、私のようなちょっと規格外れのような娘は、むしろ海外の方が向いていると思われたのでしょうね。生意気にも私は、それ以前にも時々神父にお願いして、例の個人的な問題を聞いてもらったり、意見を言っていただいたりしていたから、結構、印象に残っていたということもあったかもしれない。

とにかく、あれやこれやで、慌ただしい雰囲気のまま、ブラジルへ移民することに決めたわけね。たまたまこの時期、私の叔父が家族を引き連れてブラジルへ移住することに決めていたから、渡りに船ということで、一緒に移民することに決めたの。

親戚であれば、同じ家族構成の一員として認められたから、移民にあたっての問題はなかったわけね。

マルコスにこんなこと言っても、よく理解できないかもしれないけど、農業移民として来る場合、家族としての労働力が基準にされるから、できるだけ大きな家族の方が有利だったし、同じ理屈で、独身者が単身で移住することは認められなかったわけね。幸いにして私の場合は、その辺がとてもうまくいったということね。

アゴスチーニョ神父もおっしゃっていたように、師範学校で学んだことは私にとって、すごく重要だったし、世の中の諸々のことを見据えるという点で、大きな意味を持つものでもあったわ。あの学校で習ったことは、もちろん、知識を吸収するという目的もあったけど、同時にまた、いかに勉強するかという、その方法を学んだといえるわね。全般的なことをただ漠然と勉強するのではなく、あるテーマを選んで、そこを集中的に勉強することによって、本当に自分が知りたいことが学べるといったことね。

謎の人・斎藤先生

三宅信夫

毎日の自粛生活で脳の運動が必要。このままではボケてしまいます。ボケると家族の者たちに迷惑をかけます。

私は大正６年（１９１７年）生まれで百三歳です。この年になると、やはり昔話しが出ますがお許しください。

時は第二次世界大戦勃発前、ご存知の通り伯国は米国に付き日本は敵国です。そうしますと「Nao pode falar japones(日本語を話してはいけない)」、「集会をしてはいけない」、「大声で話してはいけない」、「走ってはいけない」といけないずくめです。現代のコロナ禍に似ています。ただあの頃はマスクはなかった。

ある日、一つ年下の友達、燕（つばめ）一郎くんがそっと我が家に来て、小さい声で「今、斎藤先生が僕のうちにいて、日本語の勉強をしているのだが、僕一人じゃもったいない。君も一緒に勉強しないか？」と誘われ、少年移民の私は向学心に燃えて大喜びで毎晩勉強することに決めました。

一郎くんの談では、斎藤先生は日本人ですが米国に帰化し、商船大学を優秀な成績で卒業された士官です。ですが、船中日米戦勃発前で排日の空気が面白くなく脱船して、測量士となりました。

我々が住むリオ・ブランコ植民地は聖州マリリア市から南方約２０キロメートルに位置し、運動会もあり、我々青春時代の懐かしい思い出深い土地でした。

ある夜、静かに勉強が始まった。私が「はじめまして」と挨拶すると、先生は、「なあに君、あいさつはいらんよ」と一言。先生は３０～４０代の間ぐらいの年頃のよう。先生は、「僕が知っていることは、何でも全部君たちにあげるからね」とあっさり言われた。先生の豊かな知識をいただけるというわけだ。

その時、教室の窓にギョロリと大きな光る目玉をした2メートル大の大男が現れた。「わあ！鬼だ！鬼が出た！」と私達はびっくり仰天した。

先生はすかさず、ゼスチャーつきの流暢な英語をペラペラペラと話しました。キレイな英語でそれはまさに演説です。

鬼は、「日本語を教えてるな？」と思って来てみれば、「ははん、英語だわい」と弁えて姿を消しました。この鬼のように見えた彼は警察権を持つ植民地の用心棒で、職務上の仕事を行ったわけです。

先生は、「はっはっはっ。やっこさん行ってしまったよ」と笑い、「ついでに英語の勉強だ！」と本を出した。そして私に、「君、読んでごらん」と行った。中学（旧制）で習った所を私は一通りよみ、先生はじっと聞いていました。そして先生は、「ううん、君の英語は日本語の英語だ」と言いました。つまり、発音が悪いという意味でしょう。

ある日の夜、勉強中に雷鳴がなり、ザザザーとにわか雨が振り出した。先生から「勉強は中止、泊まりなさい」と言われたが、傘を借りて一郎くんの家を出ました。裏の崖山から轟々と流れてくる洪水で帰り道の橋は隠れ、怖さでトンボ返りし彼の家に泊まりました。服はびっしょり濡れたので、寝間着をかりて寝ました。翌朝枕元にアイロンで折り目正しくつけたシャツとズボンが置いてありました。これは一郎くんのお母さんの隠れた施しであります。一郎くんのお母さんが作った、揚げたマンジョッカと熱いコーヒーがとてもおいしかった。

一郎くんは「ウシ負けたー！」といい、一同が「えっ？どうして？」と驚くと、彼は「ウマかったー！」と時々突如ダジャレを言います。

先生は、カマラーダ（雇い人）のジョンさんと一緒に鎖を曳いて荒山を測っていました。近くにいたと思っていたら、足早に遠くを測っている。ジョンさんも心得て共に走り回っていました。それから半年ぐらいで測量は終わったらしい。

ある日、一郎くんが来て「先生は『マリリア市に行く』と行って出ていったが、１０日経っても帰って来ない。荷物はあるのだが…」と心配して知らせてきた。私は「はて？定期的にサントス港に来る汽船に乗ってアメリカに帰ったのだろうか？」と考えたが、その後は謎。謎謎でやはり謎の人です。

斎藤先生からは、多くを教わりました。特に記憶しているのは、「君たち！高齢者になったら、人との対面会話時は一度考えをのみ込んで話しなさい！そして、人の質問も二回聞くこと！返事は慌てず、すぐ返事をせず、落ち着いて答えること！」と老人訓を教えていただいたことです。これはひじょうにありがたいお教えであります。

それでは斎藤先生、御体を大事にご健康とご幸福をお祈りいたします。

最後に。

「おおーい！燕一郎くん！覚えているかー！また会いましょう！」終。

サンミゲールアルカンジョ援協の病院

貞末哲也

サンミゲールにある援協病院。この場所は、４５年前、私達のコチアの組合員だった松崎さんのぶどう園があった場所です。すっかり変わって立派な病院が建ち、この近くの町や地域の人たちも助かっていると思います。

私も二度ほどお世話になりました。田舎で足首の近くを痛めた時と珍しく重い風邪で弱っていた時、一時的に処置してもらって、その後は昔からかかりつけのサンパウロセアザ近くのＳＢＣ病院に移り完治しましたが、サンミゲールは昔から医者も病院もなかった町で二軒あった薬局が薬と治療をかねていました。その後、サンタカーザが街の下の方にできましたが、中古のレントゲン以外何もなく、それ以上必要な場合は近くのイタペチンガ、またはソロカバの病院へ走って行ったのです。

２５年前、私達の年齢が還暦の年、私も居るということで高校時代の同級生が２０人あまりブラジル旅行に来てくれてマナウスもベレンもリオもイグアスもサンパウロも廻りましたが、サンミゲールでは私の親しい人のお宅に民宿でお世話になり色々経験したと思います。

コーヒーでは、カンピーナスの東山農場へ、アイルトン・セナが亡くなってすぐだったので、モルンビのサッカー場にも行きました。

私達の高校は福岡県八幡西区の東筑高等学校で一年先輩には、あの仰木彬さんがおり、この人はイチローや野茂をアメリカに送り、日本シリーズで何回も優勝させた人です。私達が２年の時、甲子園にも出場しています。４年先輩には映画の高倉健さんもいましたが、二人共亡くなっています。

その中に、私と小中高校同級で同村出身の東筑病院理事長の小野享雄君（医学博士）が居て、当時サンタカーザの運営委員的立場で世話されていた当地文協会長の岩崎ペドロさんから「何もないサンタカーザに日本から進んだ医療関係、治療機器などこちらへ世話してもらえないか？」と依頼があり数年後ウルトラソンの一式、エンドスコピア、それにもう一つを無料で送って来てくれました。

日本で小野君の親しい関係者に働きかけたのでしょう。港のサントスで少し手間取ったようですが無事サンミゲールに届きました。

後日、当時市長だったザガ市長から小野君、岩崎さん、それに私にまで感謝状や記念品をいただきましたが、それらの機械は今どこにあるのでしょうか。

ブラジルも今は医療関係も進んでいて、援協ほど素晴らしい機械も揃っているのだと思います。そうした同級生達も町から２０キロもある私のシチオまで来てくれて独立当時の田舎の私達の生活を見ていたと思いますが、その時、記念にそれぞれが植えた樹木、パラナ松、フイコ、イペーフランボモーラ、それぞれ大きく成長し高い丘の上から大きく広い地平線を見続けています。

性善説と性悪説

サン・ジョゼー・ドス・カンポス　小林音吉

儒教の始祖孔子様の後を継いだ孟子様は、人の生まれつきの性質は善であり、悪は後天的に生じるとする考えを広めたお方です。一方の性悪説は、人の生まれつきの性質は悪で善は後天的に習得するという考え方です。

どちらの説も善悪共に育つ環境によって人の性質は変化すると述べています。

ドイツ人と結婚した姪っ子の結婚式に出席するため南ドイツのミュンヘンに行った時、駅から式場までは電車を使いました。改札はなく切符も買わずに真っ直ぐに出発ホームに行きます。何か変だなと感じましたがきっと車内で車掌さんが切符を売りにくるのであろうとのんきに構えていましたが一向に現れません。一時間ほどで目的地の駅に着き、出口を探しましたここでも改札口が見当たりません。ドイツでは公共交通機関は無料か？と都合の良い考えが頭をかすめましたが、いやそんなはずはないと思いなおし、近くの人に聞くとホームに券売機があるので、そこで切符を買いなさいと言われたのです。もし悪意があってただ乗りをしようと思えば出来るのです。ただし、抜き打ちのチェックがあり、無賃乗車がわかると１００ユーロ以上の罰金が課せられます。国民の善意を信じたやりかただなと感じました。

今から５０数年前、サンパウロのジョアン・メンデス広場の近くに、ルーズベルト語学学校がありました。

担当講師はイタリア系のおっさんで、我々外国人生徒に向かって、「確かにブラジルには泥棒が多い、だからと言ってブラジル人イコール泥棒という考えはもたないで」と我々に語りかけたことを今でも忘れません。今のブラジルの現実を見ると、一寸残念ですが・・・。

月日が経って長男がまだ幼かった頃、久しぶりに上聖した時、Ｒ．Ｑｕｉｔａｎｄａの路上で露天商が人参の皮むき器を街頭販売していました。大勢の人だかりの後ろの方から覗いていた家内の財布が盗まれたのです。買い物の支払いの時に財布が無いことに気が付きました。数日後、財布が見つかったという電話があり、指定の場所へ受け取りに行きました。もちろん現金はありませんでしたがＩＤカードなどは手つかずでそっくり戻ってきたのです。今では全部なくなりますが…。あの頃は良い時代だったなんて言えません。

日本での出稼ぎ時、大型のブルドーザーで工事現場から出る残土を処理場に運びました。２月の中頃の暖か日和、気温が上がってきたので防寒着を脱ぎ一服（休憩）した後、現場に戻ったら財布が無くなっていました。週末に使うつもりで下ろしておいた数万円を始め、各種免許証・カード類は二度と戻ってきませんでした。日本は安全と勝手に思い込み油断していた結果がこれでした。今思えば随分高い授業料を払いました。

数ヵ月後自宅近くのラブホテルの狭い裏道で財布を拾いました。一応中身を見ましたら、万札がびっしり入っていました。自分の数カ月分の給料だなと思いましたが、ねこばばなどしたその後で幸運が総て逃げていくだけでなく、ブラジルに居る息子達に申し訳ないと思い直しそのまま近くの派出所に届けました。中身を見て心が一寸ふらっとした弱い自分が恥ずかしくなりました。

コロンビアの麻薬王と言われたパブロ・エスコバールは死の直前に、盗聴されると解っていて息子に電話をしたため警官隊に射殺されました。彼も人の子でした。家族思いのごく普通の心を持った男でした。確かに麻薬の密売は重大な犯罪ですが、角度を変えて彼の家族愛に目を向けてあげたいと私は思います。人として全く我々と変わらない心を持っていた彼をどう評価するかは問いませんが、もし貧困と言う環境さえなければ彼は犯罪者にはならなかったのかも知れません。

サンパウロ近郊に住むＹ氏は、数年前に帰宅途中三人組の強盗に襲われました。強盗に財布・携帯を差し出した後直ぐ何処に住んでいるかと聞かれたけど氏は答えませんでした。答えなければお前を殺すぞと脅されましたが、拒否したのです。散々殴られた後、氏は強盗たちにこう言いました。「おれは裸で生まれた、だから死ぬ時も裸で死ぬ」と言って衣服を脱ぎ始めたら、強盗の一人が仲間を促し、氏の車を奪って逃げて行ったそうです。

暗い話題に終始してしまいましたが、ここに息子達のアドバイスで、強盗に遭った時の対応の仕方例を書いておきたいと思います。息子達の助言。強盗と目を会わせない。大声を出さない。口答えしない。普段と同じ言葉使いで話す。ベッドの下等に隠してある現金などは黙って差し出す。とにかく相手に逆らわないこと等でした。あまり参考に等したくない事ですが、わが身にいつ起きてもおかしくないご時勢です。宜しければご参考までに…。

参考文献：「例解新国語辞典」三省堂

ロンドリーナ・平沢正人氏満１００歳

足の鍛えとぼけ予防を日課に

平間靖旺

ロンドリーナ市在住の平沢正人さん（長野県出身）が３月１９日、満１００歳の誕生日を迎えられた。家族に支えられ、満悦の日々を送られている。故沼田信一さんとモラロジー研究会で長年活動、大正、昭和、平成，令和での人生体験を振り返り、モラロジーでの研修、終身学習だよと言いながら、コロニア日系人の歩みを詳細に調べ、まとめて知人に無料配布している。

先日、１００歳のお祝いに行き、近況を伺った。「１００歳までの元気な秘訣はなんですか」「毎日心掛けていることは」と問いかけますと、すかさず、「腹を立てない事、相手の良い所だけを見る事、ありがたい感謝の気持ちを持ち、ありがとう、ありがとうと声を出して毎日何回も言っている」と強調された。モラロジーの修練がその心掛けかと思った。

健康に関しては、人間は足から弱ると言われている。散歩も良いがコロナウイルスで外には出ず、足踏み朝夕２００回ずつを日課にして脚の弱るのをふせいでいる。食事は野菜サラダ、アルファセ、トマテをよく食べる。フルッタもランシェの時に。肉は歯が弱いのであまり食べない。薬は何も飲んでないがオメガ３とＶｉｔａＤは飲んでいる。平沢は耳が遠く、補聴器を付けていますが、記憶力抜群、認知症の気配は感じられない。それは日記を書き続けているからで、４０年も続いてそうです。ボケ予防にとコロニアの出来事を克明に調べ、記録小冊にまとめている。『ロンドリーナ市日系人のあゆみ』、『歴代の移民船リスト』、『ロンドリーナ市近郊日系人植民地』、『私の経歴』等がある。

１００歳のボーロ、家族でささやかに祝う

平沢さんの経歴を見ると、長野県人会、ロ文協、日系社会にロンドリーナ市の生き字引といわれる程、日系社会に尽力されている。

―長野県人会（ロンドリーナ信友会３２家族）創立会員、支部長、総務、現相談役を務めている。

―ロンドリーナ文化体育協会（ＡＣＥＬ）１９５５年の創立会員、評議委員、副議長、相談役を長年務めている。

―日系社会、１９８８年日本移民１００周年パラナ祭典委員、老人ホーム和順会ロ地区理事、パラナ日伯文化連合会日本語書記、ブラジルモラロジー研究会パラナ支部参与、移民祭には特に活躍された。

平澤さんの長年の活躍功積に対し数々の褒状を受けております。―パラナ日伯連合会よりパラナ日本文化功労賞（２０００年）

―パラナ州議会よりブラジル日本移民１００周年記念功労賞（２００７年）

―ロンドリーナ市役所、及び日本移民渡伯１００周年祭典委員会より賞状（２００７年）

―日本政府より日本国外務大臣賞（２００８年）

―ロンドリーナ文化体育協会（ＡＣＥＬ）より感謝状（２０１７年）

―日本移民渡伯１１０年祭典委員会より功労賞（２０１８年）

平澤正人さん１００年の人生体験を伺い、日系社会、日系人への思い、そして、相手の良い所だけをみる、ありがとう、の感謝の気持を心掛けていることに感動しました。

平澤さんの益々の健康と長生きを祈念申し上げます。

追伸、後日平澤に呼ばれ行って見ると「本来なら１００歳のフェスタをと思っていたが、パンデミックスでどうにもならないので、アセル（ロ文協）、アリアンサ（パ文連合会）、長野県人会へ寄付に」と言われ、応分の寄付をして下さった。ありがとうございます。

脳の大きさ

ピラシカーバ　鈴木八重子

もう二、三年前になるでしょうか、今年１１歳になった下の孫が８歳ぐらいの時だったと思います。ある日の食卓でその子が「おばあちゃん、手をこうやって」と、両こぶしを合わせて見せました。きっと、何に見えるかぐらい聞くのだろうと思って、その時はカボチャに見えるとでも言おうと思って、私は両こぶしを目の前に合わせました。

すると言うことに「それはセレブロの大きさだよ」。「えっ？」。私はびっくりしました。片手のこぶしが心臓の大きさとは聞いたことがありますが、両手が脳の大きさとはまたまた驚いた。だれから聞いたの、と聞きますと、お兄ちゃんから。３歳年上のお兄ちゃんは学校の先生から。そして何かブラジル語で説明してくれましたが、それは分からなかったのです。

ある老人雑誌の健康欄に「脳は百歳になっても進化する」とあったのを思い出しました。それをもう一度読み直してみましたが、結局は、脳はひとりでに百歳になっても進化するのではなくて、使わなければ進化は望めないという事です。まあ、言えば当たり前のことですが、では何をすればいいかというと、女の人には炊事とか掃除、洗濯という家事が結構頭の運動になるといいます。

でも私はお嫁さんに全部してもらって、一日ぶらぶら。持っていた少しの本は引っ越しの時に誰かにあげたみたいだし。今、毎日読むものといえば、聖書と新聞ぐらいで、新聞は結構面白いですが今頃は郵便局のせいで、遅配とかあるし。そこでぐずぐずしていたら、息子がちょっと古いコンピューターをどんと持ってきて、これでもやったら？と。つまり、私の小さい脳が怠け者になってしまわないように、コンピューターの助けを借りようという訳です。

数年さわらないうちに、すっかり忘れてしまっているのと、文章の保存とか何とかいう機能の表示がみなポルトゲスになっているのには本当に困ります。でも文句をいってもしょうがない、覚えなければなりません。息子に頼めば教えてくれますが、あっちも忙しいので遠慮しながらのパソコン教室です。ものになるかどうか、今までの怠けぐせをちょっと改めないといけませんね。

短歌で便り香山より　第七十一回

サンノゼ　香山正賢

目に青葉山ホトトギス初鰹の季節がやってきました。ブラジルではだいぶんと涼しくなり、気持ちの良い気候となっていることでしょう。皆様いかがお暮らしですか。

アメリカではコロナワクチンは、昨年暮れに医療従事者が接種しました。今年一月から高齢者の接種が始まり、私も一月中に二回ワクチンの接種をおえました。新しいワクチンで、副反応のこともあって、最初のころは五十パーセントの人が接種したようですが、最近では七十パーセント以上の人が接種をしているそうです。

日本ではタンポポは、春の小川の岸辺に咲き、菫とともに愛される春の草花ですが、ここアメリカではタンポポは芝生の雑草として除草剤を散布されて枯れてしまいます。日本に自生するタンポポはカリフォルニアに自生するのと種類が違うようです。それから橙色のケシは、私がブラジルに住んでいた時には、種を買い求めて庭に植えて、花を楽しんでいましたが、ここ加州では、このカリフォルニア・ポピーは雑草です。庭の植木の間に生えて橙色の花を咲かせるのですが、これも除草剤をかけて除去されます。人々の都合で草花も愛で育てられたり除去されたりするようです。

短歌四首

水仙の枯れて弥生の春
温み疫病の収束ちかず
きくるらし

天竜の岸辺のつつじ咲
くころか水もぬるみて
水あみのなつかし

春蚕かう母は桑の葉ざ
くざくと青くただよう
蚕室のなか

ワクチンの接種に病む
娘連れてゆくいやがる
娘なだめすかしつ

ご自愛ください。

印刷版読者限定
セルラーで新聞を読もう!!
Whatsappで配信中

投稿者におねがい

◎新聞や雑誌の文章を書き写したものは、著作権侵害となります。一部引用する事は可能ですが、その際は引用部分を分かりやすく明記し、出典を記入して下さい。

◎読みやすい書体で１千字以内にまとめてください。多すぎる場合は掲載できないことがあります。

◎写真の掲載も可能です。ただし、返却はできませんので、あらかじめコピーを取るようにして下さい。

◎順番に掲載しておりますので、掲載が遅れることがあります。ご了承下さい。

◎電話番号と住所をご記入ください。

◎Ｅ・メールでの投稿を歓迎します。

◎送り先はニッケイ新聞「ぷらっさ」係。

Ｅメール bungueinkgmail.com

《記者コラム》

樹海

拡大版

ボルソナロ大統領が先週落胆した三つの出来事

コロナ禍CPIの先にあるものは

ボルソナロ大統領は先週、三回大きな落胆を感じたに違いない。

一つ目の落胆は《コロナ禍議員調査委員会（CPI）の開設》だ。

大統領は、開設させないように最大限の交渉をしたが押し切られた。どうせ野党中心のコロナ禍CPIが開設されるなら、政敵である州知事や市長のコロナ禍責任も問う、与党中心の別のCPIを設置して、野党の連邦自治体首長を攻撃する場を作って〝相打ち〟にしようとした。

だが、それもできなかった。パシェッコ上院議長は、野党中心のCPIの中に「連邦政府からの補助金の使い道を検証する」という形で収めたからだ。野党主体のCPIの中でその検証をしたところで、同じ野党側である政敵に大きな打撃は与えられない。

このCPI開設に関して、与党寄りの立場を取るコーロル上議（PROS）の発言が興味深い。ジアリオ・ド・ポデール紙4月13日付《コーロルはコロナ禍CPI設置と最高裁の抜き打ち判決を批判》の見出しが躍る記事で、今設置することは「国民が願い、求めているものに反する。まったく相容れない」と批判した。

ただし、大統領に対しては、「率先してコロナ対策を採るように」と警鐘も鳴らす。三権、連邦自治体と一体になって対策を巡らすべき時であり、お互いに批判して足を引っ張り合っている場合ではないとする。まったくその通りだ。だが、それを大統領がやろうとしないから、CPI設置となった。

コーロル上議は「今CPIを始めることは、デジタルなバベルを作ることになる」と今後起きる大混乱を予想する。「国民は混乱でなく、健康を求めている」と締めくくった。

ここで思い出されるのは、コーロルとボルソナロ両氏の共通点だ。本紙20年4月25日《コーロル＝「その映画ならもう見た」＝元祖・罷免の元大統領、ボルソナロの罷免を予告?》で、昨年すでに予告されていた。この時、マイア下院議長は罷免審議を取り上げなかった。だが、今回は分からない。

コーロル大統領の時もCPIから罷免に進んだ

フェルナンド・コーロル上議がコロナ禍CPI設置に反対声明を出した記事（https://diariodopoder.com.br/politica/collor-critica-instalacao-da-cpi-da-covid-e-decisao-inopinada-do-stf）

弱小政党PFLから出馬した若きコーロル氏（1990―1992年に大統領）は1989年、大統領選第2次投票で51・01％を獲得し、ライバルのルーラ候補をわずか5・71％の僅差で蹴散らした。

軍政が終わったばかりで、外国資本の導入が許され、欧米からの輸入品が溢れ始め、新自由主義的な経済が好まれ、軍政が作った数々の公社を民営化することが良しとされる風潮があった時代だ。現財相のゲデス氏が18年の選挙戦で言っていたことと似ている。

汚職イメージが強い旧来の政治家とは一線を画し、若きコーロル候補は清新なイメージを売りにして弱小PFLから立候補し、国民にブームを巻き起こした。その大人気に相乗りした候補が、9州で知事に選ばれるという爆発的勝利を収めた。

だが、連邦議会では依然として過半数を制するにはほど遠く、不安的な議会との関係が続いた。まるで弱小PSLから出馬して、まさかの当選を果たしたボルソナロ氏そっくりだ。

そんな不安定な足元を突いて、就任3年目の92年に選挙時の金庫番PCファリアス氏の汚職容疑が暴露され、それを追求するCPIが5月27日設置された。そこで大統領周辺の怪しい人物の口座情報の開示が命じられ、そこからナゾの小切手が出てきたことから大問題に発展した。

その年の9月29日、与党があまりに弱小だったため、下院議会では441対38という圧倒的多数が罷免審議開始に賛成した。その審議の最後の最後、上院で罷免判決が言い渡される数時間前の12月29日、コーロル氏は大統領職を自ら辞職した。

就任当初90年の世論調査では71％の国民が「最高」「良い」と大きな期待をしていた。だがその年のうちに化けの皮がはがれて36％に下がり、最終的には9％まで落ちていた。

ボルソナロ氏の場合も、下院議会のほぼ過半数を占めるセントロンと左派議員が結託すれば、同じように圧倒的賛成票をもって罷免審議が始められるかもしれない。

コーロル氏の二の舞になるのが、大統領にとっての悪夢だ。そこまで行かなくても、支持率がガタ落ちすれば、間違いなくルーラ、もしくは彼が押す反ボルソナロ候補に票を持って行かれる。

鍵を握る委員長と報告官の役割

コロナ禍CPIメンバーの写真を並べたボルソナロ派ツイート。いわく「この上議たちの大半は汚職捜査の対象者。恥をしれ！　鶏の世話をするのに狐を入れるようなもの。レナン出てけ！ランドルフェ出てけ！タッソ出てけ！盗賊の類いたち」

CPIで重要なのは委員長（議長、Presidente）と報告官（Relator）だ。委員長はオマル・アジズ氏（PSD）。アマゾナス州選出で、知事（2010―14年）もやった経験があることから、今回の焦点の一つであるマナウスの酸素不足で窒息死する患者が続出した件を議事進行するには適当だと判断された。

彼は「独立派（中立派）」と見られているため、野党の中から選ばれるのではと恐れていた連邦政府からも好感をもって受け入れられている。政府側にとって最悪だったのは、CPI起案者である左派急進論客ランドルフェ・ロドリゲス上議（レデ）などが就任することだったが、それは免れた。ただし、彼は副委員長になっている。

委員長の仕事は、CPIの議事日程を決め、滞りなく議事進行するように調整することだ。最初の会合はチラデンテス休み明けとパシェコ上院議長が指定したが、その後の会議自体の日程ややり方の調整は委員長が行う。

連邦政府にとって、より怖いのは報告官だ。マナウス酸素不足の問題に焦点を当てながらも、連邦政府のコロナ対策の考え方の正当性、手抜きがあったかどうかを、じっくりと検証するのに、どんな証人を、どんな順番で呼ぶか決める権限を持っている。

昨年3月時点の保健相マンデッタ、5月からのタイシ両氏を最初に喚問して、二人からは医師としての専門的見解、政権内部でのやり取りを暴露してもらい、保健省官僚や専門技官、続いてパズエロ前保健相（現役陸軍中将）を召喚して保健知識の無知ぶり、無策ぶりを比較すると見られる。そのコロナ対策不在を問う流れの中で「保健省幹部を大量の軍人に置き換えてきたことの功罪」も問われる可能性がある。

アジズ委員長のインタビューなどによれば、その過程で「なぜワクチン購入を遅らせてきたか」「挙国一致のコロナ対策をしてこなかった理由」などが問われ、「保健相は大統領の操り人形に過ぎない」という実態があぶり出され、本当の責任は誰にあるのかという核心に踏み込むとみられる。

さらに報告官には、何かを隠していると思われる人物の口座情報開示を求める権限も与えられている。連邦政府側にとっては、これが一番怖い。大統領は、家族など身内、大臣や支持者らに捜査の手が及ぶことを最も避けたいだろう。

そして報告官が、名前の通り、最終報告を書き、さらに捜査する必要があると判断すれば、検察や連邦警察に指示する権限を持つ。

今回その役割を担うのが、レナン・カリェイロス上議（MDB）だ。懐かしい名前ではないか。

エドアルド・クーニャ下院議長時代に、上院議長だった彼だ。LJ作戦の容疑で両院議長はジリジリと辞任を迫られ、クーニャ下院議長は最後の最後のでもろくも陥落したが、カリェイロス上院議長は無理押しを続けて、なんとかしのいだ。あの際のふてぶてしさはクーニャ氏をしのぐものがあった。

当時、PT政権時代に政治家との交渉が苦手なジウマ大統領を裏から支える役目を、セントロンだったPMDB（現MDB）が担っていた。つまり、ボルソナロ氏が大嫌いな左派政党との太いパイプを持つセントロン体質の政治家といえる。

PT側の意向を受けたボルソナロ政権への仕返しが繰り広げられる可能性がある。政界の裏の裏まで知り尽くした、最も伝統的な政治家カリェイロス上議が、一匹狼のボルソナロ氏をどう裁くのかが見物だ。

以前から書いているのようにボルソナロ大統領は、「忠実なしもべ」を一人一人はぎ取られている最中だ。保健大臣、外務大臣、大統領補佐官など。今は更に環境大臣、経済相への退任圧力が強まっており、どんどん〝裸の王様〟になりつつある。

このCPIで、「忠実なしもべ」の財布の中まで〝裸〟にされる可能性がある。汚職疑惑にまみれたカリャイロス氏が、〝正義の味方〟として政権を裁く側に立つ姿は、どこか釈然としないものがあるが、それが大人の世界の立場というものなのだろう。

裏の交渉ごとの中心は21年予算案か

連邦政府は現在、大きな選択を両院から迫られている。何の選択かといえば、セントロンか、それともパウロ・ゲデス財相を選ぶか―という選択だ。だが実際には、選択する余地すらない。セントロンは大統領の罷免開始をする権限を持っているが、ゲデス財相にはそれに匹敵する大統領に対するメリットはない。

具体的には2021年度予算案だ。本来なら昨年末に承認されているはずのものだが、伸ばし伸ばしにされ、両院議長が替わってからさらに手が加えられ、3月にようやく両院で承認され、大統領に署名するように回されてきた。

ところが、昨年末に経済省が出した予算案からは換骨奪胎された代物になって帰ってきた。

セントロンは議員割当金や地方インフラ工事経費などを大幅に膨らませ、その分、年金や失業保険などの義務的出費を減らして、形だけ帳尻を合わせた予算案にしてしまった。事実上、「執行不能な予算」という専門家までいる。

そのままの予算案に大統領が署名したら自分が財政責任法に問われて罷免される恐れがあると、経済省は署名しないように大統領に進言している代物だ。

だが、セントロンを代表する立場にあるリラ下院議長は、大統領はそのまま署名すればいい。そうすれば後は我々がうまく帳尻を合わせる。もちろん罷免審議など始めないと迫っているという。

ゲデス財相はもともと新自由主義的な政策の持ち主で、財政均衡と小さな政府を目指す。公社はできるだけ民営化し、補助金は減らして身軽な政府にして、常に財政バランスを採って、国際金融資本家から見ても望ましい財政運営することを主張している。だが、コロナ禍もあって現実はすでに逆行している。

だがセントロンは、来年の選挙に向けて、自分の選挙地盤で地元利益誘導型のインフラ工事をバンバン始めて、票田を喜ばせたい。財政バランスなど後で考えれば良いというような雰囲気で物事を進めようとしている。

更に、現在の経済省は元々あった7省の機能を統合したスーパー省庁だから、ゲデス氏を辞めさせて省をバラバラに戻して大臣職を増やし、セントロンがその利権を握るというプランも噂されている。

セントロン、ゲデス氏どちらを選ぶか。大統領に残された期限は22日までだ。その水面下のやり取りが今週の山場となるだろう。大統領が拒否権を行使する件数が少ないほど、ゲデス氏が大臣を辞めるタイミングは早いと見られている。

そんなタイミングで、野党側が中心になったコロナ禍CPIが上院で立ち上がったことで、議会工作をセントロンに一任せざるを得ない大統領にとっては、セントロンを選ぶしかない状況が更に固まったともいえる。

2018年9月、アラゴアス州マセオ市、PTの大統領候補ハダジ氏（中央）を応援したレナン・カリャイロ上議（左、Ricardo Stuckert）

2020年6月3日、ゲデス財相とボルソナロ大統領（Marcos Corrêa/PR）

国民にとって一番イヤな筋書きは、大統領がセントロンに「CPIはお手柔らかにしてくれ。その代わりに予算案はそのまま承認する」と交渉して実際その通りになることだ。アジズ委員長はジャーナリストに「今回のCPIもAcabar em pizza（なし崩し、成果なしに終わる）ではないか?」と尋ねられ、「私はイタリア系子孫だが今回はピザでは終わらせない」と明言した。

上院ではコロナ禍CPI、下院では21年度予算案を通して、セントロンからの強烈な圧力が連邦政府にかかっている。この不安的な政治的、財政的動きがドル高維持に影響している。

まるでLJ作戦前に戻りつつあるブラジル

ボルソナロ氏が先週落胆した二つ目の出来事は、最高裁がルーラ出馬可能と正式に判断したことだ。18年選挙でもルーラ本人との戦いだったらボルソナロ氏が負けていた可能性が高い。

選挙の1年半前の現時点ですら、世論調査ではルーラ優勢になり始めている。「国内の左派政治家、PT政権時代に近かった企業家、諸外国の左派政治家などがすでにルーラとの再接触を始めた」とも報道されている。これでルーラが来年に向けての台風の目になることは間違いない。

しかし、釈然としないのは、「ルーラ裁判はクリチーバでやるのは適当ではないという5年前の訴えを受けて、すでに3審判決まで出ているものがあるルーラ裁判を、なぜ今無効にすると最高裁が判断したのか」という点だ。

法律のことなどまったく詳しくないコラム子からすれば、普段ボルソナロ親派からSNSなどで「反最高裁」批判を浴び続けている側が、ここぞとばかりに逆襲モードに入り、「反ボルソナロ」という政治的な判断を正式に下したようにしか見えない。

法律を少々拡大解釈して「最大の政敵を解き放って、ボルソナロの権力を削ぐという『毒には毒を』戦略を決断した」ように見える。つまり「司法判断は、そのときの政治状況によって変化することがある」という典型だ。

元々「Ministério da Justiça（法務省）」の「Justiça」という単語には「法律」と共に「正義」という意味がある。今回の最高裁判断を評価する政治評論家はそろって「A Justiça foi feita（正義が行われた）」と断じている。つまり、正義か必ずしも絶対的なものではなく、「主観的な正義」「調整的な正義」という価値も含まれる。だからその時々で解釈が変わるのだ。

コロナ禍CPI設置の判断も、最高裁が上院の背中を押した。ルーラ解放も最高裁の判断。いま司法界がボルソナロへの逆襲をしている。

LJ作戦潰しという部分では、ボルソナロ政権は成功した。それに司法も乗っかった部分もあった。だがその結果、LJ作戦以降、なりを潜めていた政治家が復活を始めている。カリェイロス氏はその最たるものだ。

モロ氏が下したLJ裁判自体に「偏りがあった」との正式な判断が出れば、政界に大きな大変動が起きる。おそらく次に復活を遂げるのはクーニャ氏かもしれない。

大統領が追い込まれても立ち上がらない支持者

大統領の三つ目の落胆は《これだけ追い込まれているのに支持者が大きなマニフェスタソンをしないこと》だ。頼みの綱だった軍部は、自分への積極的な後ろ盾的な声明を表明することを拒否した。最後に残されたのは支持者だといえる。

ある意味、三つ目が一番本人にはキツいのではないか。支持票に直結しているからだ。SNS上でそれなりに煽っているが、いつまでたっても支持者が大きな支持行動を見せない。

今後CPIによって支持率はさらにジリ貧になり、ルーラ再出馬によってボルソナロ批判票がそこに集中し、支持者が沈黙する。大統領にとってその先にあるのは一体何か…。

（深）

ＥＵがインド太平洋戦略

中国にらみ初策定へ
仏主導、９月に具体案提示

【ブリュッセル共同】欧州連合（ＥＵ）は１９日、オンライン外相会合を開き、加盟国共通のインド太平洋戦略を策定することで合意した。国際的な影響力を増す中国の存在と、アジア経済の重要性の高まりが背景にある。地域の安定や航行の自由を確保し、民主主義と法の支配を推進しつつ経済関係の強化を図る包括的内容を目指す。ＥＵとしてのインド太平洋戦略は初めて。

インド洋と太平洋に、領土と広い排他的経済水域（ＥＥＺ）を持つフランスが議論を主導。パルリ国防相は、ＥＵ議長国となる来年前半に成案をまとめる意向を示している。

外相会合は欧州委員会などに対し、具体的政策を盛り込んだ「ＥＵインド太平洋協力戦略」案を９月までに加盟国側に提示するよう要請するとともに、貿易や技術、政治、安全保障面で「地政学的競争を引き起こしているインド太平洋での動き」に懸念を表明。

会合の成果文書は、専制主義的な中国との対峙を念頭に、日本など「同様の志を持つパートナー国」と連携を深め「海洋安全保障、悪意あるサイバー活動、偽情報」に対応するとし、名指しを避けつつも中国を意識した表現が目立つ。

茂木敏充外相が1月、ＥＵ外相理事会にオンライン参加を求められたのも、戦略策定を巡り日本の意見を参考にする狙いだった。ＥＵは5月、インドと首脳会合を行い、関係を強める。

欧州はインド太平洋と地理的に隔たりがあるため、中国との経済関係は重視しても、地域を包括的に捉える視点が乏しかった。

しかし中国の強大化や、自由や人権軽視の姿勢を受け、フランスが２０１８年にインド太平洋戦略を策定。ドイツとオランダも同様の指針をつくった。ＥＵを離脱した英国は先月、外交・安全保障政策の一体的見直しとなる「統合レビュー」の中で、インド太平洋進出構想を発表した。

ナワリヌイ氏の健康悪化
米欧非難、抗議も再開へ

【モスクワ共同】ロシアの刑務所でハンガーストライキを続ける反体制派ナワリヌイ氏の健康状態が急激に悪化し「（当局に）殺される」と支持者らが懸念を強めている。希望する外部の医師による診察が受けられず、米欧は強く非難。支持者らは１８日、中断していた抗議行動を急きょ再開すると発表、プーチン大統領が年次報告演説を行う２１日に全国で実施するよう呼び掛けた。

ロシアメディアによると、ナワリヌイ氏は3月末から約２０日間ハンガーストライキを続け、体重が１５キロ減った。背中や足の痛みを訴えている。他の収容者が結核に感染しており、同氏も熱やせきの症状が出たという。

同氏の主治医らは「心肺停止を引き起こす恐れがある」とし、当局に診察許可を求めて陳情している。

米中、温暖化対策で協力
首脳会合に期待、習氏焦点

【ワシントン、上海共同】米中両国の地球温暖化対策を担当する特使は日本時間の１８日「両国は協力する責務がある」との共同声明を発表した。国際枠組み「パリ協定」に基づき、２０２０年代の気候変動対策の行動強化を約束。米国が今月下旬に主催する気候変動問題に関する首脳会合に期待感を示し、中国側の前向きな関与を示唆した。首脳会合に習近平国家主席が参加するかどうかが焦点となる。

二酸化炭素（ＣＯ２）の２大排出国である米中の協力は世界の温暖化対策にとって明るい動き。米中は人権や安全保障を巡り対立しているが、気候変動問題では協調する姿勢を示した。今後の両国関係への影響が注目される。

共同声明はケリー米大統領特使と中国の解振華担当特使が１５、１６両日に中国・上海で会談したことを確認した。気候変動問題に関する首脳会合に関し、声明はバイデン大統領が招待した習氏の参加には言及しなかった。ケリー氏は１８日、訪問先の韓国で、習氏の参加は「大いに期待しているが、中国次第だ」と述べ、中国の意向を尊重する考えを示した。

声明では、両国がＣＯ２などの排出実質ゼロを実現するための自国の戦略を、１１月に英国で予定される国連気候変動枠組み条約第２６回締約国会議（ＣＯＰ２６）までにまとめるとした。

発展途上国のインフラ整備の資金支援では、ＣＯ２排出量が多い化石燃料の施設から再生可能エネルギーなどへの移行を後押し。米国は中国が巨大経済圏構想「一帯一路」の下で石炭火力発電所新設を援助していることに強い懸念を示していた。

ケリー氏は１４～１７日の日程で上海を訪問。解氏と対面で会談したほか、新華社電によると、１６日には韓正副首相とビデオ通話で会談した。

米国務省によるとブリンケン国務長官は１９日、首脳会合を前に、米外交の中心の一つと位置付ける気候変動問題に関し演説する。

イスラエル、マスク不要に
ワクチン効果、屋外に限り

【エルサレム共同】世界有数の速さで新型コロナウイルスのワクチン接種を進めるイスラエルで１８日、感染者数の減少を受けて屋外でのマスク着用義務が撤廃された。市民生活には大きな変化。飲食店が3月に営業を本格化したこともあり、ワクチン効果でコロナ前の日常に戻りつつある。屋内では、マスク着用義務が継続する。

エルサレムの路上ではこの日、多くの市民がマスクなしの生活を楽しんだ。会計士ミアさん（２９）は「息苦しいマスクをしないでよい日常が戻ってきた。本当に長かった」と感無量の様子。友人とカフェのテラス席でビールを飲み談笑した。

市場のナッツ専門店の店員ナタン・ハザインさん（３０）は「コロナはもう終わったような感じだ。みんな気持ちが前を向いているからお客さんも増えるだろう」と景気回復に期待を寄せる。

保健省によると、１８日までに人口の約５３％に当たる約４９７万人が２回の接種を完了。ピーク時に1万人を超えた1日当たりの新規感染者数は１９日午前の発表で、１４１人にまで減少した。

政府は5月２３日からワクチン接種済みの外国人観光客を受け入れる方針。イスラエルでは、経済を再拡大する局面に移行しつつある。

ただ政府のコロナ対策の責任者ナハマン・アッシュ氏は「集団免疫を獲得するには人口の７５％がワクチンを接種するか、感染後に回復する必要がある」と指摘。変異株も確認されているとして警戒を怠らないよう呼び掛けた。

当局の厳しい取り締まりを受け抗議活動を控えていたナワリヌイ氏陣営は3月、全国で５０万人が参加表明すればデモを再開すると発表した。まだ目標人数に達していないが、容体悪化で「取り返しのつかないことになる」として実施を決めた。

米中に挟まれ かじ取り困難
日本企業、思惑交錯

【共同】日米首脳会談では、次世代通信など先端技術の共同開発や半導体などの供給網強化で連携することを確認した。両国の足並みがそろい喜ぶ声がある一方、米中対立のはざまに立つ日本企業は対中国戦略で難しいかじ取りを迫られる。日米政府の間の距離感や連携策の動向には期待と不安が交錯する。

経団連の中西宏明会長は「競争力を保つためのイノベーション（技術革新）促進や新型コロナウイルス対策、（脱炭素の）グリーン成長など国際社会共通の課題で緊密な連携を確認したことを歓迎する」と評価した。

電気自動車（ＥＶ）の電池やモーターに使われるレアアース（希土類）は中国の輸出制限が懸念される重要な資源。今後も需要が高まるのは間違いない。自動車メーカー各社は過度な中国依存を避けるため他国からの調達も進めており、供給網強化は「非常に前向きに受け止めている」（自動車大手）。

需要急増で世界的に不足している半導体では、スマートフォン向けの部品を巡りメーカー間で奪い合いが起きているという。電機大手関係者は「米中対立も供給不足に拍車を掛けており日米連携に期待する」と話す。

米国追従の影響を懸念する声もある。半導体大手関係者は「米国だけに依存せずバランスの取れた供給網の検討が必要だ」と指摘。自動車大手幹部は「米中の対立が激化する中で菅義偉首相の今後の振る舞いによっては両国での販売や生産に影響が出る恐れがある」と警戒する。

コロナ死者、３百万人超す
感染再拡大で増加に拍車

【ジュネーブ共同】米ジョンズ・ホプキンズ大の集計によると、新型コロナウイルス感染症の死者が１７日、世界全体で３００万人を超えた。今年に入り新規の感染者数は減少してきたが、２月下旬以降は一転して再拡大。これに伴い、死者数も3月中旬から増加ペースに拍車が掛かっている。

感染者は１７日、１億４千万人を上回った。

ワクチン接種も進むが、世界保健機関（ＷＨＯ）はワクチンだけに依拠するのではなく、手指消毒や対人距離の確保といった感染拡大防止策の基本動作の徹底を訴えている。

世界全体の死者数は昨年9月29日に１００万人を超え、その１０８日後の今年1月15日に２００万人に達した。今回、１００万人増に要した日数は９２日で、被害拡大の勢いは増している。テドロスＷＨＯ事務局長も１６日の記者会見で「感染者も死者も、懸念される速さで増加している」と警戒感をあらわにした。

国別の死者数は米国が最多の５６万人で、ブラジルが３６万人、メキシコが２１万人と南北米大陸の3カ国の多さが目立つ。インドが１７万人で続き、欧州でも英国、イタリア、ロシア、フランスでそれぞれ１０万人を超えた。

日系各社、エコカー拡大へ
上海モーターショー開幕

【上海共同】世界有数の規模の自動車展示会、上海国際モーターショーが１９日、中国上海市で開幕した。トヨタ自動車は２０２５年までに中国を含む世界で電気自動車（ＥＶ）を現在の６車種から１５車種に増やすと発表。日産自動車やホンダもエコカー販売の強化を打ち出した。新型コロナウイルスによる打撃を克服しようと、中国や欧米のメーカーも多様な新型車を出展した。

トヨタはＥＶ専用のブランド「ｂＺ」を立ち上げ、その第1弾として中国で人気の高いスポーツタイプ多目的車（ＳＵＶ）の新型ＥＶ「ＴＯＹＯＴＡ　ｂＺ４Ｘ」を世界初公開。中国のＥＶメーカー「比亜迪（ＢＹＤ）」と共同で中国専用モデルの開発も進めていると明らかにした。前田昌彦執行役員は「再生可能エネルギーを促進する政策と連携することで（消費者の）選択の幅が広がる」と述べた。

日産はＳＵＶ「エクストレイル」の新型車を展示。ホンダは中国市場向けとして初の新型ＥＶを紹介した。

ドイツのフォルクスワーゲン（ＶＷ）は7人乗り大型ＳＵＶタイプのＥＶを発表。中国の浙江吉利控股集団は価格が約２７万元（約４５０万円）の高級ＥＶを打ち出した。

別の中国メーカーは、最低価格が日本円で５０万円程度という格安ＥＶシリーズの新型車としてオープンカーモデルを出展。多様化が進んでいる。

カストロ氏、退任表明
キューバ共産党トップ
６０年超の兄弟統治に幕

【ハバナ共同】社会主義国キューバのラウル・カストロ共産党第１書記（８９）は１６日に開幕した第8回党大会の基調報告で「第1書記の任務を終える」と退任を表明した。国家元首は既に退いており、党トップも降りることで、１９５９年の革命以来、兄の故フィデル氏と続けたカストロ兄弟による統治が終わる。１９日の最終日に公表される党人事で正式に退任が決まる見通し。

ラウル氏は後任には言及しなかったが、次期第1書記にはディアスカネル大統領（６０）が就くとみられる。ディアスカネル氏は２０１８年にラウル氏の後任として国家元首の国家評議会議長に選出され、その後の憲法改正に伴い１９年に大統領となった。党序列は3位。

ラウル氏は１９６５年の結党以来フィデル氏が務めていた党第1書記を２０１１年に引き継いだ。退任について「役目を果たした満足と祖国の未来への信頼」を得たために自ら判断したとしている。「生きている限りは祖国と革命、社会主義を守るために常に行動できる体勢を保つ」とも述べ、影響力は保持する意向も示唆した。

ラウル氏は「準備の整った指導者集団に国の運営を引き継ぐことに満足している」とも述べた。党幹部としてとどまる提案も受けたが熟考の結果断ったとし「革命の一兵卒」として党に寄与していくとした。

また米国による経済制裁を非難。一方で危機的な経済状況を改善するために、国営企業の生産性向上に向けた「真の考えの転換」が必要だと強調した。

朝山、かど番正代を圧倒
合同稽古開始、照富欠席

【共同】大相撲夏場所（5月9日初日・両国国技館）に向けた合同稽古が１９日、国技館内の相撲教習所で始まり、大関同士のぶつかり合いで朝乃山が正代を１２勝３敗と圧倒した。得意の右四つで力強く寄り切る内容が目立ち、報道陣の代表取材に「しっかり自分の形をつくって相撲を取ること。いろいろなタイプの関取衆と稽古したい」と語った。

朝乃山は所属する高砂部屋で今月中旬から幕下以下の力士と連日２０～３０番こなしてきた。一昨年夏場所以来２度目の優勝へ着実に調整を進めているようだ。

正代は立ち合いの当たりは互角だったが、その後の動きで後手に回った。夏場所は在位４場所で早くも2度目のかど番。「一方的な相撲が多かった。場所までにきっちり調整しないといけない。先場所のような相撲が少なくなってくれればいい」と巻き返しを期した。

小結御嶽海、ともに先場所１０勝で三賞初受賞の若隆景と明生らも参加。5場所連続休場中の横綱白鵬、先場所で3度目の優勝を果たして大関復帰の照ノ富士、大関貴景勝は欠席した。

合同稽古は新型コロナウイルス禍で場所前に他の部屋の力士と相撲を取れる唯一の機会。昨年１１月場所前から実施され、今回は4度目で２２日まで行われる。

合同稽古で相撲を取る朝乃山（右）＝19日、両国国技館内の相撲教習所（代表撮影）（共同）

１９歳橋本、逆転で初優勝
谷川航2位、北園は負傷

【共同】体操の東京五輪代表選考会を兼ねた個人総合の全日本選手権最終日は１８日、群馬県の高崎アリーナで男子決勝が行われ、１９歳の橋本大輝（順大）が計6種目で８８・５３２点をたたき出し、7位だった予選との合計１７３・３６５点で逆転して初優勝した。

昨年3位の谷川航が０・６３７点差で2位、2連覇を狙った萱和磨（ともにセントラルスポーツ）が3位。予選を1位通過した18歳の北園丈琉（徳洲会）は跳馬でミスが出た上に鉄棒では負傷し、6位に終わった。

２０１８、１９年に2連覇した谷川翔（セントラルスポーツ）は18位、16年リオデジャネイロ五輪団体総合金メダルメンバーの田中佑典（コナミスポーツ）は２４位、白井健三（日体大教）は２８位。

4枠の五輪団体総合メンバーのうち、今大会の得点を持ち点として争う5月のＮＨＫ杯（長野市ビッグハット）で上位2人が自動的に選ばれる。

個人枠で五輪出場を目指す内村航平（ジョイカル）は専念する鉄棒のみを演技し、１５・４６６点でトップの得点だった。

男子個人総合で初優勝した橋本大輝＝高崎アリーナ（代表撮影）（共同）

皐月賞
圧勝演じたエフフォーリア
横山武は親子制覇を達成

【共同＝野村】ゴール直後、エフフォーリアの横山武は左手の人さし指を突き上げた。クラシック3冠レースの1冠目を取ったぞ、というアピールだ。ウイニングランから戻り、出迎えた関係者に向かって「やった！」「ヨッシャー！」と雄たけびを上げ、全身で喜びを表現した。

皐月賞初騎乗とは思えない、堂に入ったエスコートで勝利に導いた。スタートしてスッと好位につけ、レースの流れに乗る。最後の直線は迷わずインコースを選択。一気に抜け出し、2着に3馬身差の圧勝を演じた。

横山武は「型にはめないで乗ろうとだけ決めていました。例年よりペースは遅いと思い、迷いなく好位で。4コーナーでは内の方がスムーズに行けると判断した」と振り返った。完璧とも言える作戦通りの競馬だった。

１９９８年にセイウンスカイで勝った父・典弘騎手との親子制覇。「小さい頃から目指した憧れの職業。言葉では言い表せない。最高のひと言です」と初のビッグタイトル獲得に身震いする。

昨年の三冠馬コントレイルに続く、無敗の皐月賞馬が誕生。この強さを見せつけられると、日本ダービーでの2冠制覇へ期待は大きく膨らむ。鹿戸調教師は横山武に「これで満足したら駄目だぞ」と言った。それは飛躍的に可能性が高まったからこその、自らへの戒めでもある。

皐月賞を制したエフフォーリアと横山武史騎手＝中山競馬場（共同）

マルイチ食品、何時もあなたの食卓に
www.maruiti.com.br
MARUITI
TONKATSU YAKISSOBA

VENDA em BANCA
Nikkey Shimbun
ニッケイ新聞

日ポ生活会話ガイド
O Jeitinho no Japão para os brasileiros
特別価格 R$50
購入は ●太陽堂 11-3208-6588 ●フォノマギ竹内書店 11-3104-3399

ANO XXIV – Nº 5712 SÃO PAULO, TERÇA-FEIRA, 20 DE ABRIL DE 2021 R$ 6,00

日米声明「台湾安定」明記

首脳初会談

半世紀ぶり、中国は反発

気候変動、コロナで連携確認 人権に懸念

【ワシントン共同＝新富哲男】菅義偉首相は16日（日本時間17日）、バイデン米大統領とホワイトハウスで初めて対面で会談した。両首脳は会談後、共同声明を発表し、中国が覇権的な動きを強める台湾海峡を巡り「平和と安定の重要性を強調し、両岸問題の平和的解決を促す」と明記した。香港、新疆ウイグル自治区の人権状況に「深刻な懸念を共有する」とした。気候変動や新型コロナウイルス対策での連携も確認した。中国は台湾言及などに関し、内政干渉だと反発した。

日米首脳の共同文書での台湾言及は、冷戦期の1969年の佐藤栄作首相とニクソン大統領の会談以来で52年ぶり。首相は会談後、台湾海峡や沖縄県・尖閣諸島を巡る情勢に関し「厳しい状況が続いているのは事実だ。平和裏に解決することを最優先にすると合意した」と記者団に述べた。

1月のバイデン氏就任後、外国首脳との対面会談は初めて。首相は共同記者会見で、共同声明について「日米同盟の羅針盤となる」と語った。

両首脳は、東・南シナ海での一方的な現状変更の試みや不法な海洋権益主張に反対すると強調。「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた連携を再確認した。日米韓3カ国の協力が安全と繁栄に不可欠だと一致。多数の死傷者が出ているミャンマー情勢を強く非難し、暴力の即時停止を求めた。

バイデン氏は、核を含むあらゆる種類の米国の能力を用いた日本の防衛に対する揺るぎない支持を表明。尖閣諸島は、米国による防衛義務を定めた日米安全保障条約第5条の適用対象と改めて確認した。首相は日本の防衛力強化に決意を示した。

共同声明は、日米両国が北朝鮮の完全な非核化に取り組むと確認。バイデン氏は拉致問題の即時解決へ米国の関与を確認した。東京五輪・パラリンピックの開催努力を支持した。脱炭素化とクリーンエネルギーに関する日米気候パートナーシップ設置、新型コロナワクチンの世界規模での供給協力を申し合わせた。

バイデン氏は、新型コロナに加え「次の感染症」も視野に日米で備えを進めると強調した。両国は半導体を含む機微なサプライチェーン（部品の調達・供給網）でも連携する。会談は全体で約2時間半。通訳を入れた個別会談を約20分行い、少人数会合と拡大会合を開いた。

在米中国大使館の報道官は、共同声明での台湾言及に関し「強烈な不満と断固とした反対」を表明した。首相は17日、ワシントン郊外のアンドルーズ空軍基地を政府専用機で出発し、帰国の途に就く。

▲会談するバイデン米大統領（左）と菅首相＝16日、ワシントンのホワイトハウス（共同）

首相、米国訪問から帰国

コロナ対応が喫緊課題に

【共同】菅義偉首相は18日、バイデン米大統領と対面で初会談した米国訪問の日程を終え、政府専用機で羽田空港に帰国した。大型連休中にはインドとフィリピンを訪問する方向。外交成果を掲げ政権浮揚を図りたい考えだ。だが新型コロナウイルス感染者が4千人を超えるなどし、専門家は「第4波」と指摘。緊急事態宣言の検討を含め、コロナ対応が喫緊の課題となる。

首相は米ワシントンでバイデン氏と会談し共同声明を発表した。日米首脳の共同文書としては52年ぶりに「台湾」を明記し、台湾海峡の平和と安定の重要性を強調。覇権主義的な動きを強める中国をけん制した。

今月末からの大型連休中には、インドとフィリピンを訪れ「自由で開かれたインド太平洋」の実現へ連携を図る方向だ。首相周辺は「一連の外交で、首相の求心力が高まる」と期待を示す。

首相は18日の帰国直後、そのまま公邸に入り、吉田学新型コロナ感染症対策推進室長らから感染状況の報告を受けた。ただコロナ対応を巡っては後手批判がくすぶっており、新規感染者が各地で増えている。政府の感染症対策分科会の尾身茂会長は14日、感染状況に関し「『第4波』と言って差し支えない」と発言したが、首相はこうした見方を否定する。

今後の焦点は大阪府をはじめとする感染拡大が深刻な地域への緊急事態宣言発令の是非だ。尾身氏は16日、19日からの週以降、最終的に判断すべきだとの認識を示した。

首相はワシントン滞在中、「状況を見ての判断になる」と記者団に述べるにとどめた。夏の東京五輪・パラリンピックを控え、緊急事態宣言には慎重姿勢とみられる。

首相は15日に羽田空港から米国へ出発。米東部時間の16日にバイデン氏と会談した。

大阪 緊急事態きょう要請

3度目発令、政府検討

兵庫同調、東京は週内

【共同】大阪府の吉村洋文知事は19日、府内の新型コロナウイルスの感染状況について「非常に厳しい」と述べ、政府に緊急事態宣言の発令を要請する意向を記者団に示した。20日に対策本部会議を開いて正式決定、同日中に伝達する。兵庫県の井戸敏三知事も「大阪と同一歩調を取った方が良い」と話した。東京都は週内にも政府へ要請する方向で検討を進めていることが関係者への取材で分かった。

加藤勝信官房長官は19日の記者会見で、要請があれば速やかに検討するとの認識を示し「大事なことは感染の拡大を防止するため、実効性のある対策をどう講じていくかだ」と述べた。政府が発令を決定すれば、いずれも3度目。

一方、埼玉、千葉、神奈川、愛知の4県は20日から、緊急事態の前段階で感染を抑える「まん延防止等重点措置」が始まる。愛媛県は19日、まん延防止措置を近く国に要請する方針を表明した。「第4波」封じ込めへ、各地で対応を模索する動きが続く。

菅義偉首相は19日の自民党役員会で「大阪、東京の状況を含め引き続き強い警戒感を持つ。各都道府県と連携しながら、重点措置を徹底し、病床確保に全力を挙げる」と述べた。

大阪では5日からまん延防止措置を実施しているが、18日は感染発表の少ない日曜にもかかわらず過去最多の1219人を記録。措置の開始から2週間となる19日も月曜として極めて多い719人だった。吉村氏は「まん延防止措置では（感染力が強いとされる）変異株の急拡大を十分に抑える力にならない」として、より強い対策が必要と判断した。

宣言の内容について吉村氏は「国の判断」としつつ「感染リスクが高い飲食店やテーマパークなどの大規模商業施設には休業要請も必要」との認識を示した。感染症法に基づいて軽症・中等症病床を新たに1100床確保するよう医療機関に要請。松井一郎大阪市長は19日、宣言が出れば市立の小中学校での授業を「基本的にオンラインにする」と記者団に明らかにした。

兵庫は対策本部会議を21日に開き、緊急事態宣言の要請をするかどうか判断する。一方、京都府の西脇隆俊知事は現時点での宣言要請に否定的な考えを示した。

首都圏と愛知まん延防止

新型コロナ

ワクチン全員分9月調達

ファイザー製追加供給合意

【共同】菅義偉首相は、米製薬大手ファイザー社のアルバート・ブーラ最高経営責任者（CEO）との電話会談で、日本が新型コロナウイルスワクチンの追加供給を受けることで実質的に合意した。河野太郎行政改革担当相が18日のフジテレビ番組で明らかにした。河野氏は、これにより接種対象となっている16歳以上全員分のワクチンが9月末までに調達できる見通しになったと説明した。追加供給の具体的な数量や新たな契約内容については明言を避けた。

国内の対象者全員分のワクチン確保時期を巡り、首相は昨年10月の所信表明演説で2021年前半と明言した後、21年6月が目標だと変遷させた経緯がある。今回の見通しに関し立憲民主党の枝野幸男代表は、広島県呉市で記者団の取材に「政府の見通しはことごとく覆っている。正しい情報なら、根拠を示してほしい」と疑問を呈した。

政府は、16歳以上の対象者を約1億1千万人と想定する。ファイザー社から約7200万人分の供給を受ける契約を既に結んでおり、追加分がこれに上乗せされる。河野氏は「今後、細かい配送スケジュールを調整したい」と述べた。

ファイザー社が12～15歳への使用も許可するよう米食品医薬品局（FDA）に申請していることに関し「日本にも早晩、申請が出される。視野に入れて接種を考えていく必要がある」と語った。

首相は訪問先の米ワシントンで17日午前（日本時間同日夜）、ブーラ氏と電話会談し、追加供給を要請。ブーラ氏は、協議を迅速に進め、日本政府と緊密に連携したいと応じていた。

ファイザー社のワクチンについて政府は、約5千万人分に当たる1億回分を6月末までに調達できるとしている。河野氏は、5月以降に国内供給が安定化すると表明。1瓶当たり6回打てる特殊な注射器も使用できるようになるため、接種が進むとしている。

五輪聖火リレー高知県初日

聖火、龍馬像をスタート

高知、清流四万十川渡る

【共同】東京五輪の聖火リレーは19日、高知県での初日を迎え、高知市の桂浜にある坂本龍馬像前からスタートし、県西部を巡った。全国13府県目。四万十市では四万十川橋（赤鉄橋）や佐田沈下橋をランナーがトーチを掲げて走り、宿毛市では大相撲で活躍した同市出身の井筒親方（37）＝元関脇豊ノ島＝が最終ランナーとしてゴールした。

井筒親方は「（地元を）ちょんまげ姿で走れてよかった。引退して体重が少し減ったとはいえ140キロ以上あり大変だが、一生懸命走った姿は伝わったかと思う」と振り返った。

高知市で最初のランナーは高知県出身の俳優島崎和歌子さん（48）が務めた。沿道の観客に元気に手を振りながら走り「この1年、リレーができるか、もやもやした部分もあったが、聖火が高知にやってきて、いよいよオリンピックが始まるとわくわくしている」と話した。

続いてトーチを掲げた演歌歌手三山ひろしさん（40）は「世界的なスポーツの祭典の端っこでも担うことができてうれしい」と感想を述べた。

須崎市では、1964年東京五輪の聖火ランナーを親戚が務めたという森本長太郎さん（79）が予定のコースを軽快に走り終え「（リレーを）1年待ったおかげで、体調管理がバッチリできた」と笑顔を浮かべた。

▲聖火を引き継いだ島崎和歌子さん（左）と三山ひろしさん＝19日午前、高知市（代表撮影・共同）

「虚偽ニュース」

ミャンマーで邦人記者拘束

刑務所移送、長期化も

北角裕樹さん（共同）

【ヤンゴン共同】国軍がクーデターで全権を握ったミャンマーで18日夜、同国在住のフリージャーナリスト北角裕樹さん（45）が最大都市ヤンゴンの自宅で治安当局に拘束された。在ミャンマー日本大使館が19日明らかにした。北角さんは「虚偽ニュース」を拡散させた疑いで取り調べを受けているという。北角さんは連行後、政治犯が多く収容されているヤンゴン市内のインセイン刑務所に移送された。拘束が長引く恐れがある。

北角さんはクーデターに抗議するデモの取材を続け、会員制交流サイト（SNS）で情報を発信し、日本のメディアにも寄稿していた。国軍に不利な情報の発信が「虚偽ニュース」と認定された可能性が高い。

北角さんは2月26日にもデモ取材中に拘束されたが、その日のうちに解放されていた。

菅義偉首相は19日、「邦人保護に万全を尽くす」と記者団に述べた。外務省幹部は、国軍側に解放を働き掛けていると明らかにした。

国軍は2月1日のクーデター以降、外国人記者を含めジャーナリストを相次いで拘束し、メディアの免許剥奪などで言論弾圧を強化。インターネットの利用も大幅に制限している。

虚偽ニュースの拡散や、社会不安の扇動で有罪になると、最高禁錮3年が科される。日本大使館によると、治安当局は北角さんにけがはなく、自宅から押収した物はないと説明。大使館は北角さんと面会できていない。

北角さんは4月18日午後7時50分（日本時間同10時20分）ごろ、自宅兼事務所にいたところを拘束された。SNS上では、治安当局が家宅捜索して段ボール箱を持ち出したり、北角さんに両手を上げさせてひざまずかせたりしたとの目撃者情報が投稿されている。

北角さんは元日本経済新聞記者。ミャンマーに移り住み、日本語情報誌の編集長を経て、フリーで活動していた。

ビジネスジェット評価向上

3密回避、認知度に課題

【共同】新型コロナウイルスの感染拡大を機に、ビジネスジェットが注目を集めている。国際線の大幅減便が続く中、駐在員の帰国などの利用が増加。定期便に比べ3密（密閉、密集、密接）を回避でき、乗り継ぎ便を待つ必要もない。航空業界の関係者は「移動手段の選択肢として認知度を高めたい」と話す。

「日本の市場はまだ小さいが潜在需要はある」。ANAビジネスジェットの片桐純社長は9日、東京都内で開いた事業説明会で力を込めた。

同社の主な業務はチャーター便の手配。これまで日本から海外に定期便で渡った後の移動を手配するケースが多かったが、コロナ禍で日本と海外を直接行き来する案件が増えた。海外工場の再開に伴う技術者の現地派遣や駐在員と家族の帰国といった需要だ。一般旅客と接する回数が少なく、感染対策としての評価も高まっている。

同社は2018年の設立だが、既に黒字化。22年度には売上高10億円を目指す。

ビジネスジェットの最大の利点は、時間の節約だ。複数の都市を訪れる場合、空港の専用施設で出入国や搭乗の手続きが可能で、直接最寄りの空港まで飛べる。計画次第では数日間の日程を短縮できる。

ただ日本での利用は欧米に比べ、桁違いに少ない。米ニューヨーク近郊のビジネスジェット専用空港の発着回数は19年で17万回超。日本の全空港の約10倍だ。国土面積の広さや鉄道網の発達、空港の施設整備など原因はさまざまだが、そもそも有効な移動手段としての認知度が低い。

日本航空も19年にJALビジネスアビエーションを設立。路線や金額の問い合わせ件数がコロナ禍で3～4倍に増加した。紺戸隆介社長は「オンライン会議が普及する一方で、対面で話すのもビジネスで重視される」と指摘し、今後の需要は伸びるとの考えを示した。

「五輪は開催、名ばかり」と

AP通信が批判コラム

【ロサンゼルス共同】AP通信は16日、開幕まで100日を切った東京五輪について「開催される、ただし名ばかりで」と題した批判的なコラムを配信した。

記事では「他の選択肢を取るには（開催の方に）多額の金をかけている」として、新型コロナウイルスの逆風が吹く中でも大会は開催されると断言。海外からの観客の受け入れ断念や、選手同士の交流制限を挙げ「喜びや魅力、高い理想を奪われた名ばかりの五輪となる」とした。

国内の観客を制限して入場させることになっても「この五輪は本質的にテレビ用につくられたイベントになる」と指摘。放送権料に支えられている国際オリンピック委員会（IOC）、膨大な費用を負担している日本政府、プレーしたい選手たちはいずれも実施を望んでいるとした。

江差追分全国大会が中止

北海道、コロナで2年連続

【共同】北海道江差町は19日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、民謡「江差追分」の全国大会を2年連続中止にすると明らかにした。

毎年9月に開催し、2019年は参加者と観客計約3500人が来場。20年は少年の部の出場権を失う中学3年生向けの発表会だけ開いていた。今年は開催予定だったが、変異株の拡大で地域によっては予選用の動画撮影が難しくなっていた。

江差追分は信州の「馬子唄」が起源の一つで、江戸時代に日本海を往来した北前船の船乗りが伝えたとされる。哀愁漂う旋律で知られ、大会は1963年から毎年開催されていた。

JORNAL ニッケイ新聞 NIKKEY SHIMBUN
EDITORA JORNALÍSTICA UNIÃO NIKKEI LTDA.
Rua da Glória, 332, Liberdade,
Cep 01510-000, São Paulo – Sp, Brasil
TEL: (11) 3340-6060 | FAX: (11) 3341-6476
Site: www.nikkeyshimbun.jp/
Facebook: www.facebook.com/Nippak.Nikkey/
Diretor Presidente: Raul M. Takaki
Jornalista Responsável: Takao Miyagui - MT 15.167-SP
Redator: Masayuki Fukasawa
記事に関するご意見
Redação: redacao@nikkeyshimbun.jp
配達・購読契約に関する連絡
Assinatura: nikkeyshimbun@yahoo.com.br
広告に関する連絡、問い合わせ
Publicidade: anuncio@nikkeyshimbun.jp
Periodicidade: Terça-feira à Sábado
Assinatura

	Anual	Semestral
WEB	R$ 1100,00	R$ 550,00
Impressa	R$ 900,00	R$ 480,00
Digital (PDF)	R$ 500,00	R$ 270,00

PDF版紙面 スマホ・PCで新聞を読もう 好評配信中